

レクチャー『世界遺産入門』を実施

世界遺産センター

田辺市立の小・中学校教師に

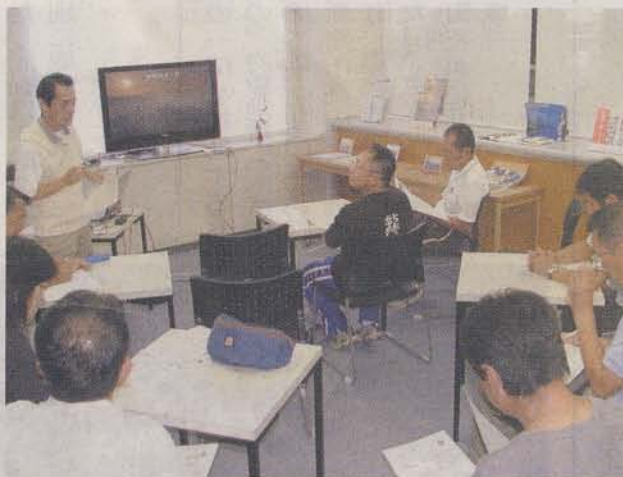
1/3 紀南

和歌山県世界遺産センター（田辺市本宮行政局内）は11日、市教育研究会社会部会を対象に世界遺産レクチャープログラム『世界遺産入門』を実施した。市立の小・中学校の教師が参加。世界遺産の概要説明を受けたあと、熊野本宮大社とその周辺の熊野古道でウ

オークラリーを行い、霊場の歴史にふれた。また道普請のボランティア活動を行い、さらに古道上の見晴らし台から熊野川や大齋原（おおゆのはら）などの景色を眺望して、文化的景観を体験した。世界遺産の概要について、同センターの職員が「紀伊山地の霊

場と参詣道」の特徴や熊野もうでの特色などプロジェクトを使って説明した。このあとフィールド学習に移り、同大社の参道の階段数や旧社地の名称（大齋原）、また祠（ほこら）の役割など、クイズ形式で知識を深め

た。道普請では石敷き道の横断（排水）溝をきれいにし、作業を終えたあと大齋原周辺の景観をビューポイントから眺望した。こうしたフィールド学習を終えたあと同センターに戻り、今回の学習をまとめた。同センターでは、この学びをきっかけに各学校における世界遺産学習の広がりを期待している。



『世界遺産入門』のレクチャー